



日本触媒

# 株式会社日本触媒 決算説明会資料

2022年3月期第2四半期決算説明  
および

2030年 長期ビジョン「TechnoAmenity for the future」の進捗

2021/11/9

代表取締役社長 五嶋祐治朗

# 目次

## 業績概要

1. 2021年度 上期業績
2. アクリル酸・高吸水性樹脂の動向
3. 2021年度 通期業績見通し
4. 利益還元

## 2030年 長期ビジョン「TechnoAmenity for the future」の進捗

5. 目指す姿と3つの変革 長期ビジョン概要
6. 事業の変革
7. 環境対応への変革
8. 組織の変革
9. 中期経営計画について

### 用語解説

SAP : 高吸水性樹脂  
AA : アクリル酸  
AES : アクリル酸エステル  
EO : 酸化エチレン

# 業績概要

---

## 1. 2021年度 上期業績

(単位：億円)	2020年度	2021年度	
	上期実績	上期実績	8月5日発表値
売上収益	1,247	1,730	1,700
営業利益	△12	152	130
税引前利益	△1	177	145
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△12	124	100
ROA (資産合計税引前利益率)	△0.0%	7.4%	-
ROE (親会社所有者帰属持分四半 期利益率)	△0.7%	7.6%	-
国産ナフサ価格	27,600円/kL	50,600円/kL	50,400円/kL

## 前年同期比 増収・増益 / 8/5発表値比：各利益上振れ

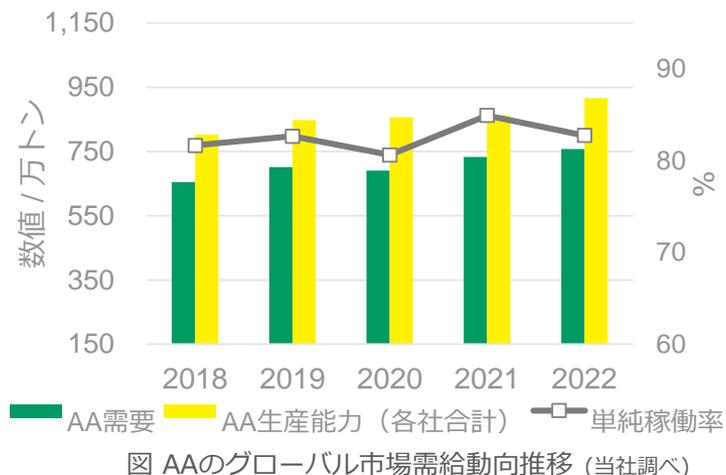
- ◆前年同期比
  - ・売上収益 増収：原料価格や製品市況上昇、販売数量増加など
  - ・営業利益 増益：販売数量増加や在庫評価差額、スプレッド拡大など
  - ・税引前利益 増益：営業利益増加、持分法投資利益の増加
- ◆8/5発表値比
  - ・各利益 上振れ：スプレッド拡大、販管費減など

## 2. アクリル酸・高吸水性樹脂の動向

### AA(AES) 動向

需要 世界需要 約730万トン(2021年)  
 中期的に年率3-5%程度の成長を想定

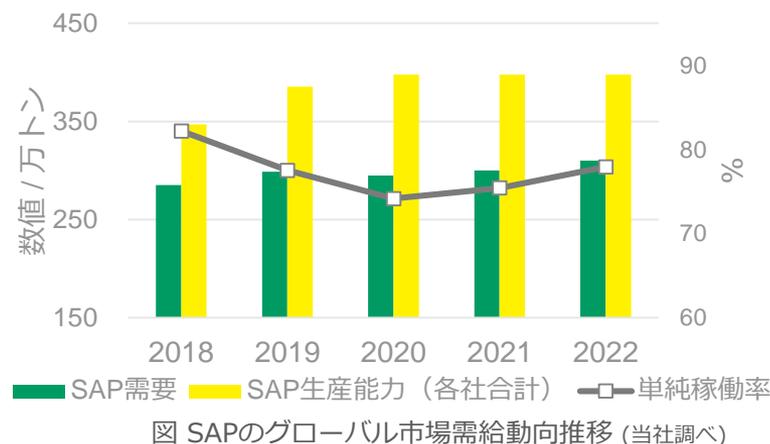
- ・2021年度上期 コロナの影響による需要減を脱し需要回復
- ・供給トラブルにより需給タイト化 海外市況上昇
- ・中長期的に需給バランスはタイト基調に転換



### SAP動向

需要 世界需要 約300万トン (2021年)  
 中期的に年率3-5%程度の成長を想定

- ・2021年度上期 コロナ影響による需要減から回復傾向
- ・供給トラブル等で需給のタイト化
- ・中期的に需給バランスは改善していく見通しである



AA、SAPとも、中期的には引き続き成長が見込まれる

### 3. 2021年度 業績見通し

	2020年度	2021年度			
(単位：億円)	実績	上期実績	下期予想	通期予想	8月5日 発表値
売上収益	2,732	1,730	1,820	3,550	3,250
営業利益	△159	152	88	240	220
税引前利益	△129	177	108	285	240
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△109	124	81	205	160
ROA (資産合計税引前利益率)	△2.7%	7.4%	4.4%	5.9%	-
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益率)	△3.4%	7.6%	4.9%	6.3%	-
国産ナフサ価格	31,300円/kL	50,600円/kL	58,000円/kL	54,300円/kL	50,200円/kL

#### 前期比 増収・増益 / 8/5発表値比：各利益上振れ

- ◆前期比
  - ・営業利益 増益：減損損失や統合関連費用がなくなること、販売数量増加や在庫評価差額、スプレッド拡大など
  - ・税引前利益 増益：営業利益増加、持分法投資利益の増加
- ◆8/5発表値比
  - ・各利益 上振れ：上期におけるスプレッド拡大など
- ◆上期→下期
  - ・原料価格上昇によるスプレッド縮小など

## 4. 利益還元策

事業拡大や企業体質の強化等を総合的に勘案しつつ、  
連結業績の動向を見通し、中長期的な水準向上を目指した配当を行う

2020年度配当  
当期利益 ▲109億円  
**90円/株**

円/株	中間	期末	合計
普通配当	45	45	90

2021年度配当（予想）  
当期利益 205億円  
**130円/株**

普通配当120円/株に加えて  
創立80周年記念配当10円

円/株	中間	期末*	合計
普通配当	75	45	120
記念配当	5	5	10

	2012～21年度平均	2020年度	2021年度（予想）
配当性向	34.9%	—	25.3%

\* 2022年3月期の配当予想につきましては、中間配当金は前回予想の1株当たり80円（普通配75円、記念配5円）から変更はありません。なお、期末配当予想については、原料価格の高騰や自動車減産等の影響を見極め、引き続き修正の要否を検討してまいります。

# 2030年 長期ビジョン 「TechnoAmenity for the future」の進捗

---

## 5. 長期ビジョン 目指す姿と3つの変革

2030年 長期ビジョン

**TechnoAmenity** *for the future*

### 〈2030年の目指す姿〉

- 人と社会から必要とされる素材・ソリューションを提供
- 社会の変化を見極め、進化し続ける化学会社
- 社内外の様々なステークホルダーとともに成長

### 〈2030年の目指す姿に向けた**3つの変革**〉

#### ① 事業の変革

- ◆ 既存分野から成長分野へのポートフォリオ変革
  - ・収益性の高いソリューションズ事業を拡大
  - ・事業基盤強化に向けマテリアルズ事業を抜本的に立て直し
  - ・DX推進による生産性向上、新たな価値の創出

#### ② 環境対応への変革

- ◆ 2050年カーボンニュートラル実現に向けたサステナビリティ推進

#### ③ 組織の変革

- ◆ 成長し続ける組織、多様な人財がいきいきと働く会社への変革

## 6. 長期ビジョン 事業の変革

### 社会の変化を見極め、進化し続ける化学会社

ソリューションズ事業拡大にリソースを投入し、  
マテリアルズに頼ったポートフォリオからの変革を目指す

それぞれの事業群の強みを活かし、環境変化に柔軟に対応  
目標・責任を明確にするため、2022年度より外部発表セグメントを変更予定

#### マテリアルズ

高品質の素材を  
高い生産技術力で  
グローバルに提供する

- ・ベーシックマテリアルズ  
(酸化エチレン等)
- ・アクリル  
(アクリル酸およびアクリル酸エステル類・  
高吸水性樹脂)

#### ソリューションズ

多様な産業の顧客ニーズに応え  
るため、当社の強みであるキーマ  
テリアル開発力を活かし、他社に  
ない独自の機能を提供する

- ・インダストリアル&ハウスホールド  
(生活消費財、自動車、建材分野等)
- ・エネルギー&エレクトロニクス  
(電池、エレクトロニクス分野等)
- ・ライフサイエンス  
(健康医療、化粧品分野)

## 6. 長期ビジョン 事業の変革

### ■ マテリアルズ事業強靱化

- ・徹底的なコスト削減/生産性向上/DX推進
- ・脱炭素・リサイクル推進
- ・他社とのアライアンス/事業再編

### ■ ソリューションズ事業拡大

- ・市場/分野毎の開発活動
- ・ニーズ・顧客課題把握、ソリューション提案強化
- ・タイムリーに対応できる生産・供給体制

# 6. マテリアルズ事業強靱化

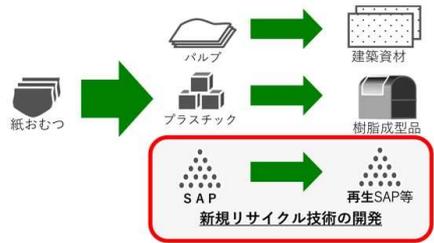
## 徹底的なコスト削減/生産性向上/DX推進

- 1) SAPサバイバルプロジェクトの推進継続
  - ・SAP生産性の向上
    - ・生産性の低い旧型設備の停止
    - ・比較的新しい設備への高効率生産技術の導入
  - ・メンテナンス効率化、物流効率化 等
- 2) EOレジリエンスプロジェクト推進
  - ・SAPサバイバルプロジェクトのノウハウをEOに展開
- 3) データサイエンスによる開発迅速化、生産効率化
  - ・SAP高付加価値製品（高吸水倍率、高速吸収、超速乾性）を迅速に開発



## 脱炭素・リサイクル推進

- 1) 原料のバイオマス化
  - ・バイオマスSAP 国際持続可能性カーボン認証ISCC PLUSを取得（ベルギー拠点）
  - ・バイオマスEO ENEOS/三菱商事と共同で供給に向けた調査開始
- 2) 製品のリサイクル
  - ・紙おむつのリサイクル（SAPのリサイクル）



## 他社とのアライアンス/事業再編

マテリアルズ事業 他社とのアライアンス/事業再編の検討進める

# 6. ソリューションズ事業拡大

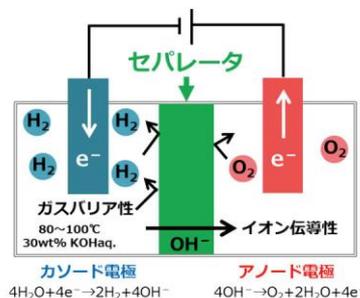
## 市場/分野毎の開発活動

### エネルギー・資源分野

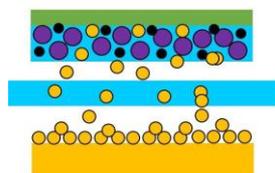
イオネル® (LiFSI) 電池用次世代電解質  
EV市場の拡大  
設備増強の検討 2023年稼働予定



アルカリ水電解用セパレーター  
グリーン水素製造用



全固体ポリマー電池用電解質膜  
充電時間の短縮 エネルギー密度の向上



- Liイオン
- 正極活物質
- 導電助剤
- 正極集電体
- ポリマー電解質
- 負極 (金属リチウムなど)

海水淡水化・廃水処理向け素材  
浸透圧発生剤

## 6. ソリューションズ事業拡大

### 市場/分野毎の開発活動

#### ライフサイエンス分野



##### 創薬支援事業・CDMO事業

核酸医薬、ペプチド医薬、DDS

- ・ 中分子原薬合成施設(吹田) GMP製造品を初出荷（2021年3月）
- ・ 湘南ヘルスイノベーションパークに拠点開設(2020年2月)
- ・ 設備増強 核酸合成ラインを1系列増設（2022年1月稼働予定）
- ・ 投資展開（設備、M&A）
- ・ 分析法開発やプロセス開発も含めたソリューションの提供にも注力

##### 化粧品素材事業

コアターゲット：スキンケアとその周辺領域

- ・ 製品販売開始（19年4月～）
- ・ 評価手法や処方ノウハウを蓄積しソリューション提案を強化
- ・ 新規開発品 多機能性ポリマー「KPシリーズ」化粧品メーカーに採用
- ・ 事業提携、共同開発



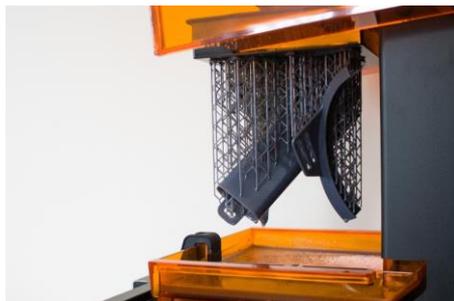
## 6. ソリューションズ事業拡大

### 市場/分野毎の開発活動

#### 情報ネットワーク分野

##### AOMA® VEEA®

曲面印刷領域に優れるUV硬化材料  
3Dプリンターへも展開



##### アクリビュア®

液晶パネル用フィルム  
耐熱特性・光学特性を活かし 自動車用途にも新たに展開



##### iOLED®

紙より薄い有機EL  
パイロットライン稼働



##### 酸化グラフェン

シート形状のナノカーボン材料

# 6. ソリューションズ事業拡大



## ニーズ・顧客課題把握、ソリューション提案強化

### デジタルマーケティング推進

- ・マーケティングサイト「課題解決サイト」の拡充  
<https://www.shokubai-solution.com/>
- ・オンライン展示会の活用

### 組織の見直し

- ・マーケティング組織強化
- ・ソリューションズ営業の人員強化

The screenshot displays the '課題解決事例' (Case Study) page on the Shokubai website. The main headline reads: '環境への配慮から、水性顔料インクに変更したところで立て続けに問題が発生... 顔料の分散性が改善され、色特性もより鮮やかになった水性ポリマーの特長とは？' (From environmental considerations, switching to water-based pigment ink caused a series of problems... How are the features of water-based polymers that improved pigment dispersibility and made color characteristics more vibrant?).

The '解決のポイント' (Key Points of Solution) section lists:

- 1 日本精塩のポリエチレンイミンキチレート「PN-100」はアニオン性顔料に吸着して、水ぬれ性を改善
- 2 立体型架による分散性付与効果に加えて、水溶性にも優れ、ハインダーなど他成分との相溶性も高い
- 3 顔料の分散性は改善され、インクの安定性も向上

On the right side, there is a vertical navigation menu with categories like '課題解決事例', '製品・材料', '生産設備', 'エレクトロニクス', 'モビリティ', and '解決'.

## タイムリーに対応できる生産・供給体制

### 研究・生産技術・製造をシームレスにつなぐ体制構築を推進

- ・研究段階から製造までの時間を短縮

### データサイエンス活用し研究開発を迅速化

- ・DS&I推進室を中心にノウハウを蓄積 研究開発の迅速化に貢献



## 7. 長期ビジョン 環境対応への変革

### 〈2030年までの当社の取り組み〉

- ・保有技術の活用（触媒技術等）
- ・CO<sub>2</sub>排出削減
- ・主要製品の原料のバイオマス化推進
- ・環境貢献製品の販売拡大
- ・CO<sub>2</sub>吸収材料、CO<sub>2</sub>変換触媒等、技術開発を推進
- ・SAPを含むオムツのリサイクル技術の開発、実証

中期経営計画で  
目標を設定

2030  
年

カーボン  
ニュートラル実現



2050  
年

## 7. 長期ビジョン 環境対応への変革

### テクノアメニティ推進委員会にて カーボンニュートラル（CN）実現への全社戦略を検討中

2030年CO2排出量削減目標設定、2050年CN実現へのシナリオ策定

#### 【進行中の施策例】

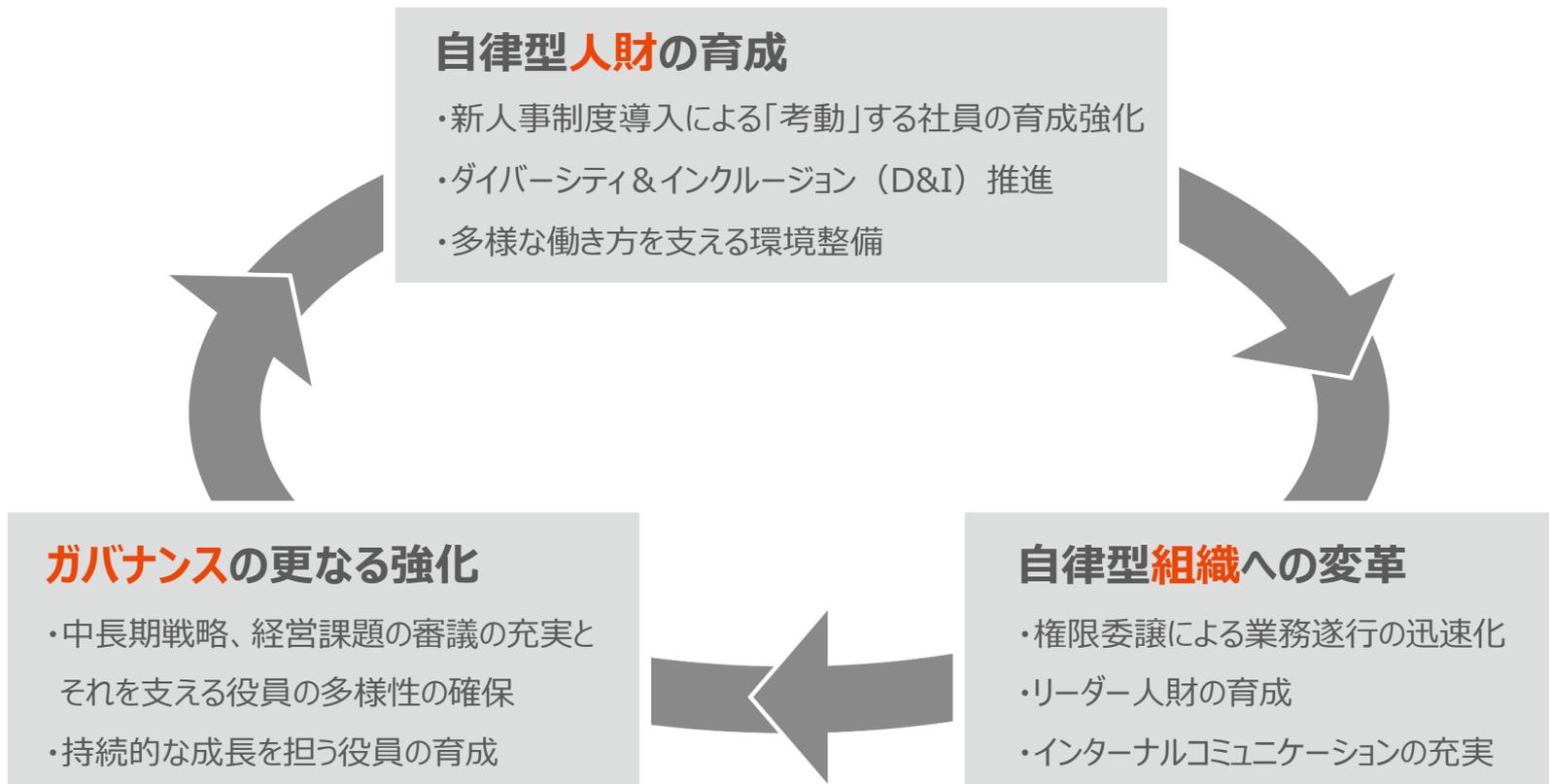
#### グリーンイノベーション推進部新設（2021年8月）

温室効果ガスの排出削減に貢献し得るシーズ創出や開発の加速

- ・ バイオマス原料からのアクリル酸、酸化エチレン新製法の開発
- ・ 水素キャリアとしてのアンモニア新製法と利用技術の開発
- ・ CO2回収技術および変換技術の開発

## 8. 長期ビジョン 組織の変革

### 個人と組織が成長できる仕組みを早期に実現



## 8. 長期ビジョン 組織の変革

### 個人と組織が成長できる仕組みを早期に実現

#### 〈取り組み施策〉



#### 人財育成・活躍推進

- ◆ チャレンジする人財を評価する人事制度の導入⇒**2022年度予定**
- ◆ 多様な人財の活躍推進⇒**D&I推進グループ**設置済み
- ◆ 多様な働き方を支える、テレワーク導入等の制度導入やITインフラ整備⇒**強化中**

- ◆ 本部長クラスの野心的な目標設定と公開により、ビジョン明確化⇒**実施済み**
- ◆ 決裁権限見直しによる権限委譲を進め、各部門での判断迅速化⇒**一部実施済み**
- ◆ 経営と従業員の対話強化⇒**強化中**
  - ・インターナルコミュニケーション強化⇒**コーポレート・コミュニケーション部**設置し強化継続中
  - ・社長への提案制度の導入⇒**実施済み**



#### 組織の成長

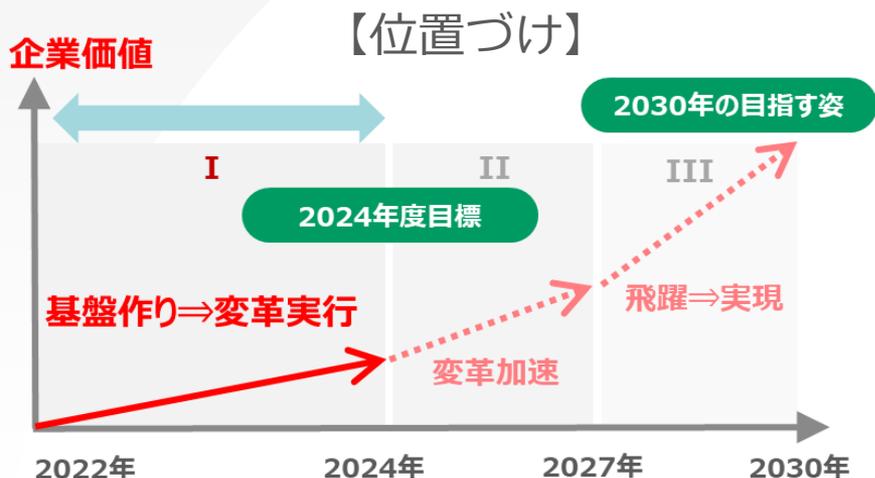


#### ガバナンス強化

- ◆ 社外取締役の多様性確保⇒**実施継続**
- ◆ 中長期戦略の議論充実⇒**実施中**

## 9. 中期経営計画について

### 次期中期経営計画 策定中



### 【計画の概要】

- ・ポートフォリオ変革 & 事業別成長戦略  
→ソリューションズ事業拡大
- ・カーボンニュートラル対応シナリオ & 実行計画
- ・DX企業変革
- ・組織変革
- ・財務戦略

### 2030年 長期ビジョン

**TechnoAmenity** *for the future*

### 〈2030年の目指す姿〉

- 人と社会から必要とされる素材・ソリューションを提供
- 社会の変化を見極め、進化し続ける化学会社
- 社内外の様々なステークホルダーとともに成長

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7605

FAX： 03-3506-7598

URL： <https://www.shokubai.co.jp>